



平成29年度 鳥獣害被害対策技術情報 8月号 知っておきたい、電柵設置のポイント

電気柵は学習柵 ～「触れると痛い」と学習させることが肝心～

まず、最初に理解しなくてはならないのは、電気柵は、イノシシ等の獣を田畑に近づけない様にさせる「学習柵」であることです。

つまり、「これに触るとビリっとして痛い」と言うことを獣たちが学習して初めて効果を発揮します。

農作物を狙うイノシシは、新たに張られた電気柵に興味を持ち、鼻先で少し触れ確認します。ぬれた鼻先は、敏感で電気を良く通すので、イノシシは鼻先をハンマーで殴られた様な衝撃を覚え、恐怖で圃場に近づかなくなります。

なので、田畑をきちんと囲い、きちんと電気が流れるようにしましょう。

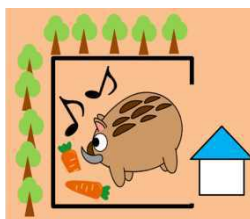


安全のため危険表示は忘れずに！

設置のポイント ～以下を踏まえて「24時間通電」が大事～

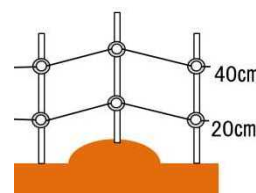
1. 守りたい田畑を隙間なく囲う！

イノシシは田畑に柵が張ってあると、柵伝いに移動して進入出来る場所を探します。山側だけでなく、田畑のまわりをきちんと囲うことが重要です。



3. 電線の高さは20cm間隔で

イノシシの鼻の高さは、20cm程度です。鼻先が、電線に触れるようガイシは必ず外向きにしましょう。また、凸凹な地形でも隙間をつくらず丁寧に電線を張りましょう。

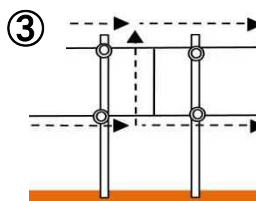
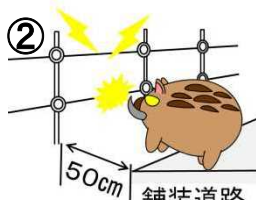
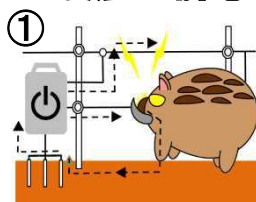


2. 電気柵は、仕組みを踏まえた設置が肝心

電気柵は、イノシシが電線に触れ、体に電流が流れて初めて効果が発揮されます。

なので、良く電流が流れるよう以下のポイントを守って設置しましょう。

- ① アースは地面に深く打ち込みましょう。
- ② 前足が地面に付くよう舗装道路から離して設置しましょう。
- ③ 電線が一部断線しても電流が流れるよう上下の電線を結線しましょう。



4. 草刈りはしっかりしよう！

農地の回りのヤブはイノシシの格好の隠れ場所です。圃場に接近しないよう、草刈りを徹底しましょう。

また、雑草が電線に接触すると漏電で電圧が落ちます。電柵周辺は特に丁寧に管理しましょう。

